

R7 小中一貫教育重点目標

自走する子どもの育成

成果・課題(事実)

- 素直である
- 仲間との協力
- 家庭学習
- 家での動画視聴やゲームの時間

小清水中学校 令和7年度 重点目標

One and Only 唯一無二

～互いに尊重し、高め合い、進んで学ぶ居心地の良い小清水中学校をめざして～

成果・課題(根拠)

- 周りとは協力し合って学習に取り組む 97%
- 自分には良いところがある 82%
- 失敗を恐れず挑戦できる 47%

(R6全国学力学習状況調査 学校評価アンケート結果)

小清水中学校として取り組む 令和7年度「これだけは」【プロセス】

① ウェルビーイングで規律ある学校づくり

- ・ 互いに尊重し、高め合い、進んで学ぶことのできる落ち着いた環境づくり(まずはあいさつから)
- ・ 教職員の業務改善の推進と心理的安全性の確保、生徒の非認知能力の育成

② 日常の授業改善

- ・ 単元・授業のゴール、学習過程、学習評価の共有
- ・ 確実な知識の定着と身につけたこと・理解したことを条件に応じてアウトプットする力の育成

③ 人材育成と学校力向上

- ・ 主体的に学び続ける学校・互いに育ち合う教職員
- ・ 日常授業と直結した研修の推進(全体テーマ+個人テーマ、メンター制)

成果指標

- ① 全国学力学習状況調査(生徒質問紙)
- ② 学校評価アンケート(教職員)(生徒)

チーム「小清水中学校」【チーム・ネットワーク】

協働体制

教育委員会
小中一貫教育合同研修

◇小清水中学校を軌道に乗せるための学校マネジメント

- ・義務教育9年間(15歳の姿)を見通したカリキュラムマネジメントの充実
- ・発達段階に応じた学び合い、単元・評価を大切に授業改善研修の推進
- ・いじめや不登校(登校渋り)など生徒指導に対する組織的対応

◇信頼される学校づくり

- ・教職員の信頼関係、同僚性の向上
- ・親切・丁寧・謙虚な対応、服務規律の遵守
- ・保護者・地域との連携・協働体制の強化

学校運営協議会

経営方針の承認
教育活動の評価
地域ボランティア